

令和7年（2025年）度 学校経営シラバス

北海道鶴川高等学校

めざす学校像	めざす生徒像
1 生徒のより良い自己実現を目指し、絶えず研鑽に励み、専門性を高め、質の高い教育活動の実践に努めるとともに、生徒が「行きたい」と思う学校づくりに努める 2 学校課題の解決を図るため、地域や専門機関等との連携を図りながら、積極的に教育活動の改善・充実に努める 3 学校経営参画意識の高揚を図り、組織体としての機能を高め、協働体制の確立に努める 4 連携型中高一貫教育等の充実に努め、地域から信頼され、「行かしたい」と思われる学校づくりに努める 5 地域や保護者等との連携・協調に努め、教育環境の整備に努めるとともに、保護者が「行かせたい」と思う学校づくりに努める 6 学校における働き方改革「北海道アクション・プラン」を推進し、その具現化を図る	<b>【学校教育目標】</b> 一人ひとりの個性を伸ばし、明るく豊かでたくましい人間を育成する <b>【育成したい生徒像】</b> ○ グローバル化する社会の一員としての基礎的な資質・能力を身に付け、地域社会に貢献できる人間の育成 ○ 自己の特性や能力を最大限に伸ばさせ、主体的にたくましく生き抜くことができる人間の育成 <b>【育成を目指す資質・能力】</b> <生きてはたらく知識・技能> ○ 基礎的な知識・技能 ○ 情報活用力 <思考力・判断力・表現力> ○ コミュニケーション力 ○ 課題設定・解決力 ○ 批判的思考力 <学びに向かう力・人間性> ○ 自己理解・成長力 ○ 他者とチームで活動する力 ○ 組織に求められる人間性

令和7年度 学校経営の重点

- ◎進路ストーリーを柱とした進路実現を図るための個別最適な『学びの場』の形成～カリキュラムマネジメントを通じた人材育成～
- 発達支持的生徒指導の強化・継続による、多様化する生徒への理解の深化と教育相談・生徒指導体制の充実
- 「むかわ探究ゼミナール」等の着実な実施による社会に開かれた教育課程の研究・進化
- 地域等との連携による自律的な自己実現を図るためのデュアルシステム等の再構築と評価
- 地域や保護者等への本校の魅力や価値、教育効果の積極的な周知及び普及
- 教職員の資質・能力の向上を支える「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた主体的・効果的な研修の継続
- きめ細かな形成的評価による学校課題の迅速な検証・改善と業務の効率化によるウェルビーイングの実現

観	対 象	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教 育 活 動	学習指導	○「主体的・対話的で深い学び」の実践  ○「むかわ探究ゼミナール」の着実な実施  ○個別最適な学びと協働的な学びを支えるICTの有効活用	<input type="checkbox"/> 授業評価を踏まえた、探究的な学びによる「主体的・対話的で深い学び」の実践 <input type="checkbox"/> シラバスに基づいた授業の実施及び、本校で育成を目指す資質・能力に基づくキールブリックに沿った観点別評価の充実・発展 <input type="checkbox"/> 「むかわ学」や「チャレンジ・ステイ」、「デュアルシステム」等の系統化に係る研究（進路実現のためのワイドカリキュラム化） <input type="checkbox"/> 全校体制による教科横断型学習の実施と充実 <input type="checkbox"/> 教育活動全体を通じた個別最適な学びと協働的な学びの実践を支える一人一台端末等の適切な使用と活用
	生徒指導	○全校体制による社会性と自律性、主体性の向上を図るための支援の充実（「発達支持的」生徒指導）  ○いじめ撲滅へ向けた組織的取組の徹底	<input type="checkbox"/> カリキュラム全体と密接に関連づけた発達支持的生徒指導の日常的な実施と強化 <input type="checkbox"/> 生徒・保護者・地域との共通理解と対話による校則の不断の見直しと評価 <input type="checkbox"/> 導入期指導の確実な実施及び、TPO に応じたマナーや、公共の場でのふるまいの自覚と実践 <input type="checkbox"/> 本校生徒の実態に即したCSTの実践 <input type="checkbox"/> 人格と個性を尊重し支え合い、多様な在り方を相互に認め合える人間関係の形成を通じた、いじめ撲滅の組織的取組
	進路指導	○進路ストーリーを柱とした総合型選抜等に対応する進路支援計画の改善、充実 ○生徒の進路探究の深化及び、主体的に希望を確実に実現させるための進路学習等の一層の充実  ○デュアルシステムの再構築による地域等との連携によるキャリア教育、アントレプレナーシップ教育の一層の充実	<input type="checkbox"/> 本校で育成を目指す資質・能力に基づく進路ストーリーの策定と確実な運用、及び出口指導の強化 <input type="checkbox"/> 生徒及び保護者の大学進学等の自己実現に係る進路意識の高揚を図るための着実な情報提供や進路学習の実施 <input type="checkbox"/> 生徒の希望進路や興味関心に基づいた「チャレンジ・ステイ」における個別最適な学びの充実 <input type="checkbox"/> キャリア支援におけるICTの積極的な活用及び、公営塾と協力した個別最適な学びの充実 <input type="checkbox"/> 企業等と連携した広域的なデュアルシステムの再構築と評価

	健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様化する生徒への理解の深化（「発達支持的」生徒指導）と教育相談体制の充実</li> <li>○個別の支援が必要な生徒に対する柔軟な対応の推進</li> <li>○生涯を通じた健康管理及び学校安全の徹底と災害等に対する適切な対応</li> <li>○美化意識の高揚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□SC 等専門家との連携のもと、個に応じた教育相談体制や自殺防止への対応の充実及び、健康・安全指導における ICT の積極的な活用</li> <li>□個別の支援が必要な生徒の具体的な支援計画・指導計画の作成及び全校体制での支援の徹底</li> <li>□避難訓練や、各種講演会等の啓蒙活動等を通じた危機管理意識や健康管理に対する意識を高める取組の実施</li> <li>□生徒による主体的な校舎内外の美化活動の実施</li> </ul>
	中高一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間を通じた中高一貫教育の各種取組の検証と推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□「むかわスタンダード」を踏まえた（小）中高の学びの接続</li> <li>□むかわ学などの探究的な学びの接続の発展・体系化</li> <li>□中高一貫教育に係るシラバスの継続的見直し</li> <li>□連携学習会や中高講演会、ボランティアなど中高連携に係る日常的な活動の深化・充実</li> </ul>
学 校 運 営	信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「むかわ探究ゼミナール」の実施等による社会に開かれた教育課程の研究・充実</li> <li>○地域や保護者への本校の魅力や価値、教育効果の周知及び普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□「むかわ探究ゼミナール」など、コンソーシアムを活用した社会に開かれた教育活動の充実</li> <li>□公営塾の活用及び、公営塾スタッフやコーディネーター等との協働体制の充実・発展</li> <li>□地域みらい留学及び地域高2留学の効果的活用</li> <li>□道外留学生に対する本校の魅力の明確化と生活環境向上支援</li> <li>□地域住民や保護者等に対する学校公開の実施や、各種報道機関、HPや学校だより、学校説明会、SNS等を活用した積極的な教育活動に係る情報発信の充実</li> </ul>
	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カリキュラムマネジメントを柱とした学校課題の明確化及び課題を解決するための迅速な取組と改善</li> <li>○今後の間口の変化等に対応し持続可能性を目指した組織的、機能的な協働体制の構築と充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□中間反省や年度末反省、学校評価等を踏まえた学校課題の明確化及び、具体的な改善方策の策定（カリキュラムマネジメントによる教育活動の評価・改善の迅速化）と持続可能な改善</li> <li>□校内研修会を活用した学校課題の解決</li> <li>□業務の効率化を柱とした組織運営に関する不断の見直し</li> <li>□学校経営参画意識の高揚を踏まえた持続可能で、円滑・組織的な業務遂行</li> </ul>
	教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた主体的・効果的な研修の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□教職員の指導力・ファシリテーション等の向上を図るための効果的な研修会の継続及び、ライフステージに応じた校外研修等への積極的な参加の奨励と職員への還元</li> <li>□教職員の資質能力の向上を図るための人事評価シートを活用した個別面談等の効果的な実施</li> <li>□日常からの効果的な情報提供等を通じた公務員としての服務規律の厳守にかかる意識の高揚</li> </ul>
	働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「北海道アクション・プラン」の推進</li> <li>○ウェルビーイングを意識した働き方改革</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□公立学校の教師の勤務時間の上限に関する指針（時間外の上限を「月 45 時間内、年 360 時間内」とする）の順守</li> <li>□本校で育成を目指す資質・能力を重視した教育活動の再構成（教職員全員によるカリキュラムマネジメント）</li> <li>□生徒や地域の方々と共にウェルビーイングを実現するための働き方の再構築</li> </ul>